



地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力(考え)で地域を育てる」**地まちづくり**をすすめています。市内各地域の地まちづくり活動団体によって取り組まれている地まちづくりなどを**地まちのチカラ**で情報発信します。

2023.08.31

vol.93

港まちづくり協議会 地域の取組み

みんなとまちの音楽室n西築地

月2~3回、ピアノやヴァイオリンの演奏を聴くだけでなく、歌ったり、弾いたり、持ってきた楽器でコラボしたり、音楽のことならなんでも聞ける音楽室。誰かが映画音楽の話をするするとすぐにその曲がヴァイオリンで奏でられ、みんなビックリ!「百恵ちゃんがいいな…」のリクエストに「私も大好き!」と賛同の声。ひとつの曲で初対面の人に会話が生まれ、みんなが笑顔になりました。ほっこり優雅な時間でした。

岩田ゆいこさんのヴァイオリンにみんなうっとり ▼



星崎学区連絡協議会 地域の取組み

いざというとき動ける備えを

南区役所、市防災危機管理局なども参加して開催された防災ワークショップは「誰一人取り残さない防災まちづくりを」という各務委員長の想いのこもった挨拶から始まりました。講師に三重大大学の川口准教授を招き、昨今の災害の激甚化について講義。その後はグループに分かれ災害図上訓練を行いました。地図やハザードマップなど複数の地図を見比べながら、台風の接近に伴い変化する状況下で自分たちがどう動くべきか、タイムラインで考えます。自宅の危険性や、避難経路、その途中で想定される困難などを想像し、みんなで共有することで、新たな発見が生まれました。



みんなで考える災害図上訓練

大杉まちづくり会 地まち団体紹介

妖怪から始まる地域への愛着

活動している大杉学区には寺社が多く、古い歴史や面白い言い伝えがたくさん。一方で、そうした魅力を知らない住民も多いのが実情です。そこで子どもも大人も楽しめる、地域の「妖怪」をテーマにすることで、まちのこともっと知ってもらおうと取り組んでいます。会のコンセプトは「地域に愛着と誇りをもって住み続けたい街、大杉」。妖怪は、地域に愛着をもってもらう一つのきっかけ。怖い?面白い?妖怪の魅力を使った大杉ならではのイベントで「子どもたちに楽しかった思い出を作ってほしい。大人になっても帰ってきたくなくなるまちにしたい」とお話しいただきました。

メンバーの皆さん 杉ノ宮神社にて▲



インタビューに同行した インターンシップの大学生 山盛さん

話を聞いてみて
どうでしたか?



最初は地元の特産品を使っの「まちおこし」をイメージしていましたが、地域の子もたちに愛着をもってもらうと活動していらしてすてきでした。また、妖怪を使っの取り組みと聞いて新鮮だと感じました。子ども向けの妖怪のアニメもあるため、多くの子どもたちが楽しんでイベントに参加してくれそうです。子どもたちが積極的に参加すれば、親御さんも一緒になって参加してくれるので、輪がますます広がっていきそうだなと思いました。

大杉まちづくり会のInstagramはこちらから!



地まち チャレンジ ~39人目~

山内久義さんご紹介
矢田学区連絡協議会 未来志向担当
岡村 芳恵 さん

Q まちづくりに取組んできた中でうれしかったこと
A 学区の方から地域の歴史や様々なことを教えていただき大変勉強になりました

Q これから取組みたいと考えていること
A 「やっぴー」をみんなに知ってかわいがってもらえるよう広報していきたいです

Q 最後にひとこと
A みんなで創り出そう! 矢田のにぎわい!

矢田学区公式キャラクター
やっぴー



地元矢田学区に戻り、久しぶりに子どもとお祭りに行った岡村さん。昔に比べると「人も少なくてさみしいな…」と感じ、声を上げるといつの間にか学区連絡協議会のメンバーに。地域の色々な方々と協力し、次第にお祭りは大きく成長。実行委員のみんなで作った学区公式キャラ「やっぴー」も、一緒に盆踊りを盛上げます。さらに、学区の仕事を知るうちに「学区の活動や、情報をもっとみんなに伝わるいいのに」と感じ、コロナ禍における地域情報の発信ツールとして学区HP「やだナビ!」を立ち上げました。「子どもが戻ってくるまちにしたい」という想いで、まちのつながりを育てています。(松井)

